※令和４年度以降入学生用

学校番号	3021

令和８年度　商業科

教科	商業	科目	プレゼンテーション技法	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	瞬間言語化トレーニング　（SB クリエイティブ）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

　グローバル社会において「自分を売る力」を身につけることが令和の必須スキルだ！
コミュニケーションのスキル，プレゼンテーションのスキルを学ぶにはちょっとしたコツがあり，誰でも努力すれば周囲から羨まれる存在になれる可能性があります。コミュニケーションが苦手なあなた，大歓迎。ただし，全国大会レベルのコンペティションに挑戦する意欲があることが重要。
自分の殻は内側からしか破れない…。勇気さえあれば問題なし。さて，どうしますか？

2　学習の到達目標

商業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，ビジネスを通じ，地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) プレゼンテーションについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。
(2) プレゼンテーションに関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
(3) プレゼンテーションを展開する力の向上を目指して自ら学び，ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	プレゼンテーションについて実務に即して体系的･系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けている。	プレゼンテーションに関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	プレゼンテーションを展開する力の向上を目指して自ら学び，ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	INTRODUCTION	コミュニケーション トレーニング ・エンカウンター ・クリティカルシンキング ・メタ認知	a:プレゼンテーションの概要について理解し，関連する知識を身に付けている。 b:プレゼンテーションの活用と目的について認識し，企業活動と関連付けて考えて判断し，表現できている。 c:プレゼンテーションについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	レポート	思考ツール（マンダラート等）	観察
	DESIGN	コンペティション プランニング ・コンセプト ・MECE ・ソーシャルチェンジ	a:プレゼンテーションのデザインについて理解し，関連する知識を身に付けている。 b:プレゼンテーションの活用と目的について認識し，企業活動と関連付けて考えて判断し，表現できている。 c:プレゼンテーションについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	対話	思考ツール（ロジックツリー等）	自己評価
2学期	ACTION	コンペティション プロデュース ・ラテラルシンキング ・ソリューション ・アントレプレナーシップ	a:プレゼンテーションの実践について理解し，関連する知識を身に付けている。 b:プレゼンテーションの活用と目的について認識し，企業活動と関連付けて考えて判断し，表現できている。 c:プレゼンテーションについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	対話	思考ツール （SWOT 分析等）	相互評価
	PRESENTATION	コンペティション プレゼンテーションⅠ ・Canva ・PREMIERE ・Prezi　　… etc.	a:プレゼンテーションの実践について理解し，関連する知識を身に付けている。 b:プレゼンテーションの活用と目的について認識し，企業活動と関連付けて考えて判断し，表現できている。 c:プレゼンテーションについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	成果物	成果物	成果物

※令和４年度以降入学生用

3学期	THE NEXT	コンペティション プレゼンテーションⅡ ・パートナーシップ ・リフレーミング ・リフレクション	a:プレゼンテーションの実践について理解し，関連する知識を身に付けている。 b:プレゼンテーションの活用と目的について認識し，企業活動と関連付けて考えて判断し，表現できている。 c:プレゼンテーションについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	レポート	プレゼンテーション	ポートフォリオ

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度